



みんな知^しってる？

だいに じふくやまし かんきょう きほんけいかく

第二次福山市環境基本計画

だい きけいかく
-第2期計画-

がい よう ばん
概 要 版

ふくやまし
福山市

「環境基本計画」ってなに？

福山市の豊かな環境を守り、未来へと伝えていくため、これから取り組んでいく方針をまとめたものです。環境問題について理解し、毎日の暮らしの中でできることから、環境のために良いことを始めていきましょう。

計画の期間は？

第1期計画は、2019年度(平成31年度)から2023年度(令和5年度)の5年間でした。

第2期計画は、2024年度(令和6年度)から2028年度(令和10年度)の5年間です。

※基本目標1「脱炭素社会の構築(気候変動対策)」については、2023年度(令和5年度)から、2028年度(令和10年度)の6年間です。

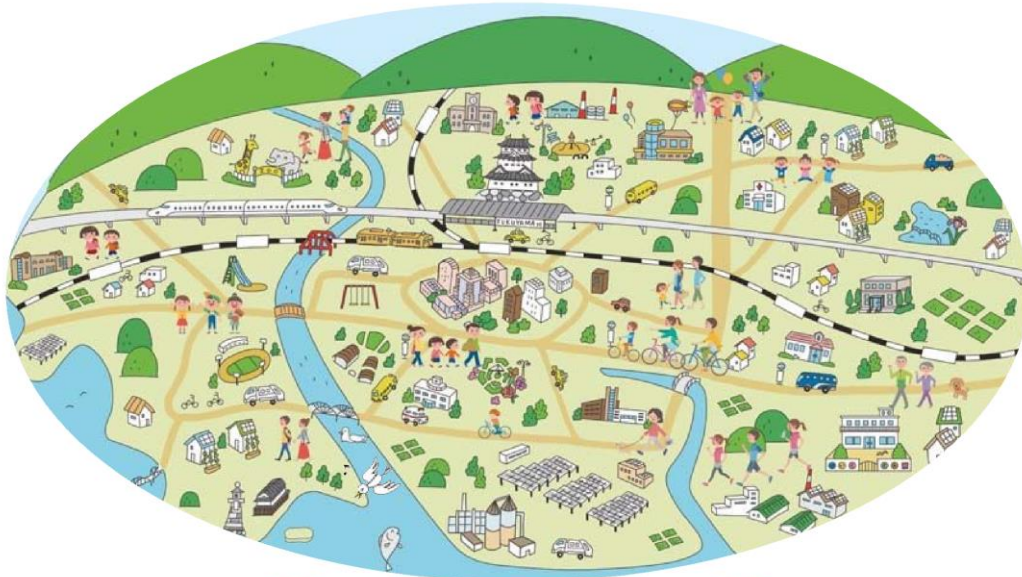
福山市がめざす環境像

みんなで創り 未来につなぐ

豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 福山

～持続可能な社会の実現をめざして～

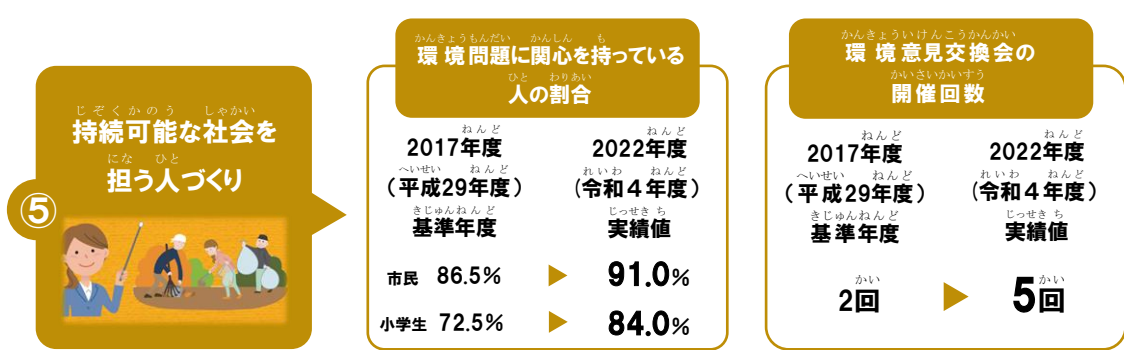
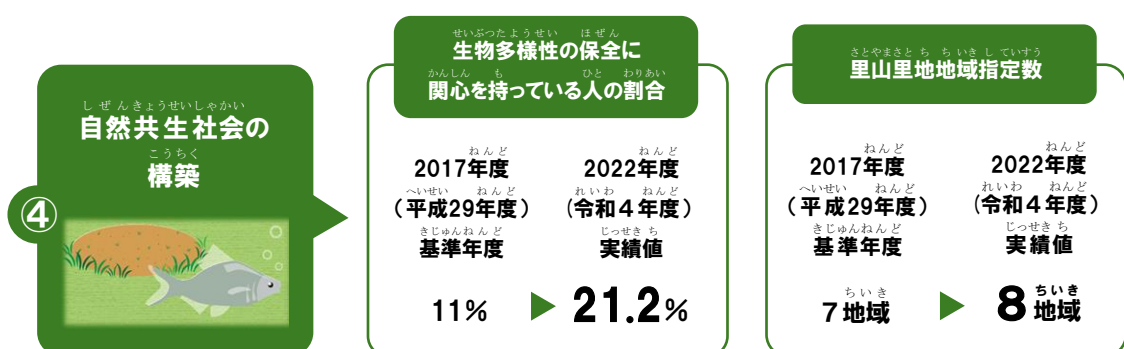
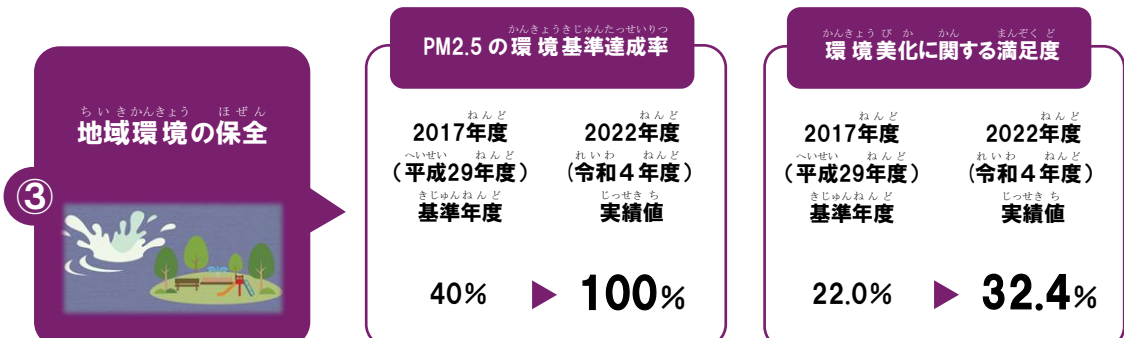
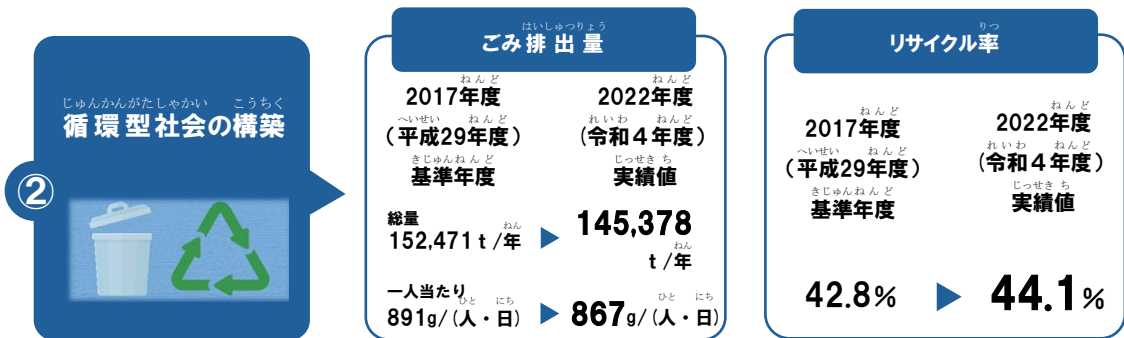
これが、私たち市民、企業などの事業者、行政の三者が、より良い環境を実現するため、将来に向けて取り組んでいくための長期的な共通目標です。「めざす環境像」については、期間を定めません。



だいに じふくやまし かんきょうきほんけいかく だい きけいかく おも せいか 第二次福山市環境基本計画（第1期計画）の主な成果



※「基本目標1 低炭素社会の構築(気候変動対策)」は、2023年(令和5年)3月に改定しました。



1 脱炭素社会の構築 (気候変動対策)

気候の変化に影響を与える温室効果ガスの排出を抑えることは、私たちにとって重要な課題です。福山市は、「コンパクト・プラス・ネットワーク」※の考え方によるまちづくりを進めるとともに、温室効果ガスの排出が少なく気候変動の影響に対応した「脱炭素型」のまちづくりを推進します。

※医療・福祉・商業などの生活機能をコンパクトに集約し、バスや鉄道などの公共交通のネットワークで結ぶまちづくり。

現状と目標

温室効果ガス排出量

2013年度・28,345千t-CO₂/年
 ▼
 2028年度・**31%**削減
 2030年度・**39%**削減
 2050年・カーボンニュートラル達成

再生可能エネルギーの導入目標

2021年度・254MW
 ▼
 2028年度・**842 MW**
 2030年度・**1,034 MW**

都市浸水対策達成率

2021年度・55.1%
 ▼
 2028年度・**58.7%**

最近、異常気象や熱中症になる人が増えているけど、CO₂の増加も原因だったのね



省エネを進めて、CO₂の排出を抑えないといけな

基本施策

温室効果ガスの排出抑制

建築物の省エネ化、再生可能エネルギーの普及、環境に優しいライフスタイルの定着などを進め、温室効果ガスの排出を抑制します。

脱炭素型のまちづくりの推進

バスや鉄道などの公共交通機関の利用を促進し、都市の機能を集約させた「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めます。

気候変動による影響への適応

子どもや高齢者などの熱中症予防や、水害・土砂災害対策など、気候変動による影響への適応を進めます。



私たちができる取組

- ▶ 家電などを買い替えるときには、省エネ性能の高いものにしな
- ▶ LED照明や太陽光発電システムなど、住まいの省エネ化や再生可能エネルギーの導入を進めま
- ▶ 通学やショッピング、レジャーなどに電車やバスなどの公共交通機関を利用しま

2 循環型社会の構築

私たちの暮らしを成り立たせている大切な資源には限りがあります。
 福山市は、3R※の取組を進めることで、廃棄物の発生を抑制した、環境への
 負荷が少ない資源循環型のまちをめざします。

※リデュース (Reduce:廃棄物の発生抑制), リユース (Reuse:再利用), リサイクル (Recycle:再利用) を3つの柱とする環境への取組

現状と目標

ごみ排出量 (一人一日当たり)

2022年度・867g/人・日

2025年度・842g/人・日※

リサイクル率

2022年度・44.1%

2025年度・19.0%※

最終処分量

2022年度・15,169 t/年

2025年度・5,900t/年※

※福山市一般廃棄物処理基本計画の数値目標

一人一日1 kg 近くもごみ
を出しているんだね



リデュースやリユースをして、
ごみを減らさないといけないわ

基本施策

3Rの推進

家庭ごみや事業系廃棄物の発生抑制 (リデュース) や、不用家具や衣類の再利用 (リユース) を推進します。また、資源回収や拠点回収の充実、資源化ルートの確保により、リサイクルを推進します。

廃棄物の適正処理

家庭ごみの分別方法をきちんと知ってもらい、ごみを適正に処理します。また、高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるごみ処理体制を構築します。

廃棄物処理体制の確保

稼働中の施設の長寿命化など、安定的かつ強靱な廃棄物処理体制を構築します。また、ごみの減量や再資源化を進め、最終処分場の延命化に取り組みます。



私たちができる取組

マイバッグやマイボトルの利用など
できることから始めてみましょう

▶ マイバッグを利用するなどして、ごみを減らす工夫をしましょう。

▶ 必要でなくなったものはリユースショップなどを活用しましょう。

▶ 壊れたものは修理して、使えるものは長く使いましょう。

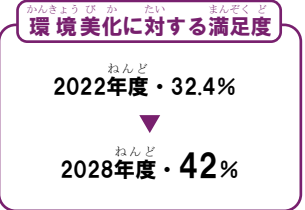
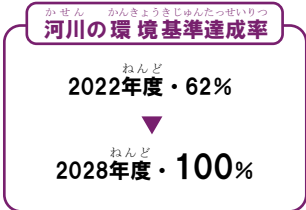
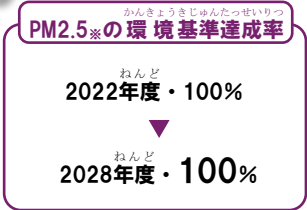
▶ 食材は上手に使い切り、食品ロスを減らしましょう。



3 ちいきかんきょう ほぜん 地域環境の保全

あしだがわ すいしつ など、ふくやまし かんきょう かいぜん さら とりくみ すす
芦田川の水質など、福山市の環境は改善されつつありますが、更なる取組を進める
ひつよう たいき すいしつ かいぜん かんきょう び かかつどう りよくか すす りょうこう けいがん
必要があります。大気や水質の改善、環境美化活動や緑化を進め、良好な景観が
けいせい かいてき く
形成された快適に暮らせるまちをめざします。

げんじょう もくひょう 現状と目標



※大気中に浮遊している2.5μm以下の小さな粒子のこと。非常に小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系への影響に加え、循環器系への影響がある。

あしだがわ すいしつ おお
芦田川は水質が大きく
かいぜん
改善されたんだよ



かてい すいしつじょうか
家庭でできる水質浄化の
とりくみ じっせん
取組を実践して、もっと
かむ
きれいな川にしたいね

きほんしきく 基本施策

せいかつかんきょう ほぜん
生活環境の保全

こうじょう じぎょうじょう かんし しどう しみん
工場や事業場への監視・指導や市民
けいはつかつどう たいき みず どじょう
への啓発活動により、大気・水・土壌
かんきょう ほぜん そうおん しんどう あくしゅう
環境の保全や騒音・振動・悪臭の
たいさく かがくぶつしつ かんり かいぜん と
対策、化学物質の管理の改善などに取
り組みます。

かいてき じゅうかんきょう けいせい
快適な住環境の形成

いっせいせいそう いほうちゅうりんたいさく ろじょうきつえんぼうし
一斉清掃や違法駐輪対策、路上喫煙防止
たいさく じっし かんきょうびか すす
対策などを実施し、環境美化を進めます。ま
た、良好な都市景観づくりのほか、緑地の
りょうこう としけいがん りょうち
保全や緑化の推進、都市公園の整備などに
よ
ほぜん りよくか すいしん としこうえん せいび
保安全や緑化の推進、都市公園の整備などに
よ
り、みどり豊かなまちづくりを進めます。



わたし とりくみ 私たちができる取組

まいにち せいかつ なか すこ かんきょう よ くふう かせ
毎日の生活の中で少しずつ環境を良くする工夫を重ね、
うつく しく
美しく暮らしやすいまちをつくっていきましょう

- あぶら しょり せんざい てきせいりよう こころ
油の処理や洗剤の適正利用を心がけ、
せいかつはいすい みず よご へ
生活排水による水の汚れを減らしましょう。
- く なか で そうおん
暮らしの中で出る騒音について、
しゅうへん せいかつかんきょう はいりよ
周辺の生活環境に配慮しましょう。
- にわ はな き う
庭やベランダに花や木を植えて、
みどり ふ
緑を増やしましょう。



4 しぜんきょうせいしゃかい こうちく 自然共生社会の構築

さとやま さとち さとうみ しぜん めぐ むた たよう いもの せいそく か げしよ
里山・里地・里海は自然な恵みが豊かで多様な生き物の生息に欠かせない場所でも
あります。福山市は、この環境の保全・回復につとめ、緑豊かな山々や美しくきれ
いな海や川に囲まれ、多様な生き物が生息する、自然と人が共生するまちをめざしま
す。

げんじょう もくひょう 現状と目標

せいぶつたようせい ほぜん かんしん
生物多様性の保全に関心
も ひと わりあい
を持っている人の割合

ねんど
2022年度・21.2%
▼
ねんど
2028年度・30%

さとやまさとち ちいき していすう
里山里地地域指定数

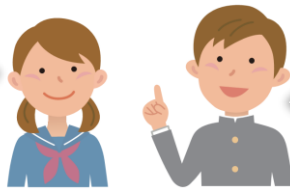
ねんど ちいき
2022年度・8地域
▼
ねんど ちいき
2028年度・9地域

しんりんせいびめんせき
森林整備面積

ねんど ねん
2022年度・9.46ha/年
▼
ねんど ねん
2028年度・20ha/年※

※福山市農林水産振興ビジョンの数値目標

きしょう やせいどうしよくぶつ
希少な野生動植物って
どのくらい生息しているの？



レッドデータブックひろしま
ひろしまけん ふくやまし
2021(広島県)によると、福山市に
は247種の絶滅のおそれのある野生
生物が確認されているんだよ

きほんしきく 基本施策

せいぶつたようせい ほぜん
生物多様性の保全

しみん せいぶつ かんしん たか
市民に生物への関心を高めてもらうとと
きしょう やせいどうしよくぶつ ほごかつどう
もに、希少な野生動植物の保護活動や
せいぶつ りようこう せいそくかんきょう とく
生物の良好な生息環境づくりに取り組
むほか、外来生物に関する正しい知識を
ふきゅう あら がいらいせいぶつ
普及させるなど、新たな外来生物の
ていちやく ふせ
定着を防ぎます。



さとやま さとち さとうみ ほぜん
里山・里地・里海の保全

のうち ゆうこうりよう そくしん さとやま ほぜん
農地の有効利用を促進し、里山を保全するとと
もと しぜん きかい じゆうじつ
もに、人が自然とふれあう機会を充実させま
す。また、ぼとう かいようせいたいけい かつよう あら
たな温室効果ガス吸収源対策の検討を行う
おんしつこうか きゅうしゆうげんたいさく けんとう おこな
とともに、それらの生態系の維持・拡大向け
とりくみ せいいたいけい いじ かくだい
た取組を推進します。



わたし とりくみ 私たちができる取組

わたし まわ いもの
私たちの周りにどのような生き物が
せいそく しら
生息しているか、調べてみましょう！

- ▶ しぜんこうえん おとず せつきよくてき しぜん
自然公園などを訪れ、積極的に自然とふれあいましょう。
- ▶ がいらいせいぶつ しぜん ほご かん ただ ちしき み
外来生物や自然保護に関する正しい知識を身につけましょう。
- ▶ かんきょう 環境ラベルなどが付いた、
かんきょう ふか すく しょうひん えら か
環境負荷の少ない商品を選んで買しましょう。



5

持続可能な社会を担う人づくり

豊かな自然環境を守り、未来に引き継いでいくためには、将来を担う世代への環境教育が欠かせません。福山市は環境について学び、ふれあう機会を増やすことで、持続可能な社会を担う人を育成し、環境にやさしいライフスタイルが定着したまちをめざします。

現状と目標

環境問題に関心も持っている人の割合

市民/2022年度・91%

2028年度・95%

小学生/2022年度・84%

2028年度・90%

環境講座参加者数

2022年度・5,486人/年

2028年度・10,600人/年

環境意見交換会の開催回数

2022年度・5回

2028年度・5回

環境に関する講座はどこで受けられるの？



福山市リサイクルプラザでは、定期的に体験講座などが開催されているよ

基本施策

環境学習・環境教育、環境啓発の推進

環境出前講座や環境関連講座などの実施に当たり、動画配信などを活用し、環境学習や体験学習の支援に取り組みます。また、体験講座の充実や環境情報の発信など、環境問題への関心を高めます。



環境コミュニケーションの推進

環境問題や環境リスクなどについて関係する人たちのお互いの理解を深める環境コミュニケーションを進め、環境意識の向上やパートナーシップの形成に取り組みます。



私たちができる取組

環境問題について、まわりの人と話し合ってみましょう

- ▶ 環境問題に関心を持ち、環境にやさしいライフスタイルを身につけましょう。
- ▶ 環境学習会や環境イベントなどに、積極的に参加しましょう。
- ▶ 地域で行われる環境保全活動に積極的に参加しましょう。



第二次福山市環境基本計画（第2期計画）における

重点プロジェクト

福山市が重点的に取り組む施策として、5つの重点プロジェクトを設定しました。

重点プロジェクトの設定に当たっては、施策の優先度のほか、環境問題だけではなく、経済、健康、防災などの社会的課題も同時に解決をめざす施策を位置付けています。

1

ゼロカーボンシティ
推進プロジェクト

- 太陽エネルギーの活用促進
- 公共交通機関の活用促進
- 自転車活用の促進
- カーボンニュートラルポートの形成促進
- ブルーカーボンの創出促進

2

将来を見据えた
ごみの適正処理推進
プロジェクト

- 再生可能エネルギーの地産地消の推進
- プラスチックごみ対策の強化
- 超高齢化社会等に対応したごみ処理体制の推進

3

大気汚染対策強化
プロジェクト

- 排ガス対策の促進
- 環境コミュニケーションの促進

4

自然と共生する
豊かな社会実現
プロジェクト

- バイオマス事業の促進
- 森林整備事業
- ブルーカーボンの創出促進（再掲）
- 生物多様性保全推進事業

5

環境パートナー
シップ推進
プロジェクト

- 学習拠点の充実
- 定期的な意見交換会
- 環境学習の支援
- グリーンなものづくり企業プラットフォーム事業